

# ナイスケアだより

第105号  
令和3年2月発行

コロナウイルスの感染拡大から緊急事態宣言が延長となり、厳しい生活が続いています。そんな介護分野では、2021年4月から介護保険制度改正、報酬改定が実施されます。

今回の改定でも地域包括ケアシステムの推進が柱になっており、医療・介護・地域が連携して包括的・総合的に高齢者だけでなく障害者も含めた支援の実施を目指しています。医療・介護のサービスだけでなく、地域のボランティアや住民などの力を結集し、連携を取り、生活困難な疾病や障害を抱えた方々を支えていく方針です。地域での活動は、コロナウイルスが流行する前はボランティア活動の輪も広がり住民主体のカフェなども活発になり、少しずつですが住民の意識も変わってきた印象でした。

しかし、今後の課題は山積みです。障害者支援を介護保険に移行する検討や地域の社会資源への過度な期待など、実現にはまだまだ難しい現状です。

介護保険制度に障害者も含めるとなると、支援の内容は異なり、サービス量や費用的な課題を解決する必要があります。ボランティア活動に対しても、過度に期待してしまい社会資源の一つと考えるのも問題があります。またコロナウイルスの流行がどこまで続くかによっても状況が異なります。

介護事業者としてもコロナウイルスの影響から運営の継続の課題など厳しい現状がありますが、地域包括ケアシステムの一員としての役割を果たして行きたいと考えています。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

## ～バレンタインデー～

2月14日はバレンタインデーです。学生の時は、下駄箱や机の中にチョコレートが入っているのではないかとドキドキしながら登校したのを覚えています。

何年か前に、男性から女性へチョコレートを贈る『逆チョコ』がはやりました。バレンタインデーは大切な人や家族、友人などにチョコレートを贈る行事なので、男性からもチョコレートを贈ることはとても素敵なことだと思いました。最近のバレンタインデーでは『セルフチョコ』というものが流行っているそうです。『セルフチョコ』とは、普段は買えないようなちょっと高級なチョコレートを自分へのご褒美として自分へ買うことだそうです。自分の食べたいチョコレートを選んで食べることができるのでとても魅力的ですね。

『セルフチョコ』もとても魅力的ですが、僕は大切な人や家族、友人からチョコレートをもらったり、贈ったりするほうが好きです。学生の頃の懐かしい気持ちを思い出すことができたり、気持ちのこもったチョコレートを食べることができるので、バレンタインデーは僕にとって一年の中でとても良い日です。

塩川 史也